

愛称：電力革命
ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド
(為替ヘッジあり)

マンスリー・レポート

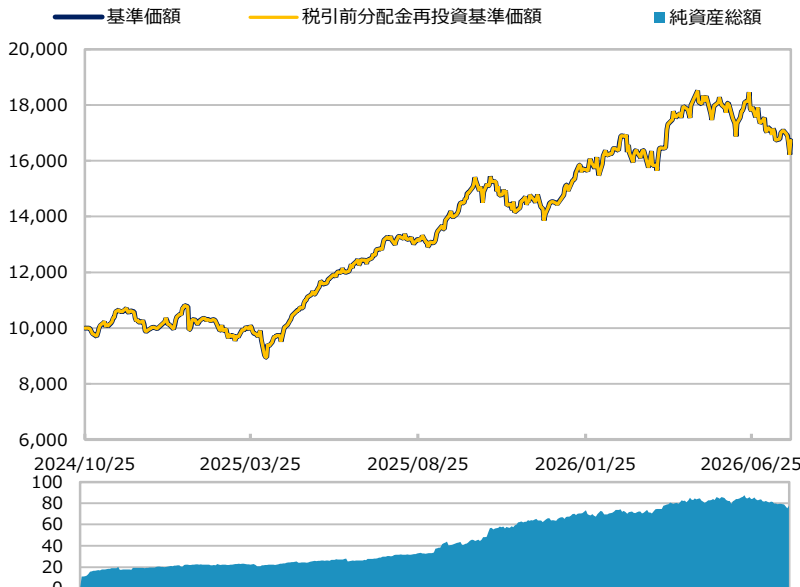
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2024年10月28日

日経新聞掲載名：電力革命あり

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	16,721	-1,004
純資産総額 (百万円)	7,763	-668

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2026/06/30	-5.7
3 カ月	2026/04/30	-4.6
6 カ月	2026/01/30	4.9
1 年	2025/07/31	25.8
3 年		
設定来	2024/10/28	67.2

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第1期	2025/10/21	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.4	-1.6
現金等	0.6	+1.6
合計	100.0	0.0

為替ヘッジ比率 96.6 -1.8

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」です。
- ※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

基準価額の変動要因 (円)

	計	インカム	キャピタル
株式	-948	+32	-980
先物等	0	0	0
為替	-29	-	-
分配金	0	-	-
その他	-27	-	-
合計	-1,004	+32	-980

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

愛称：電力革命
ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド
(為替ヘッジなし)

マンスリー・レポート

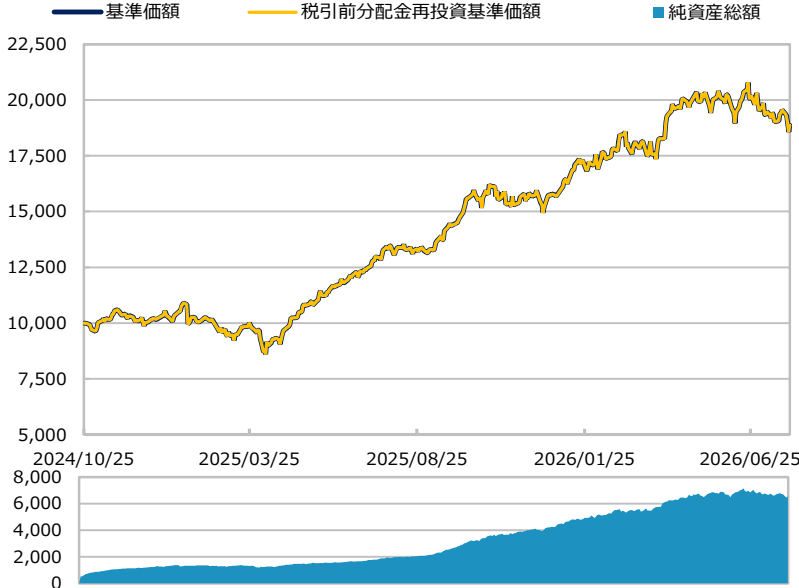
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2024年10月28日

日経新聞掲載名：電力革命なし

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	18,866	-1,195
純資産総額 (百万円)	653,127	-39,905

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2026/06/30	-6.0
3 カ月	2026/04/30	-4.1
6 カ月	2026/01/30	10.1
1 年	2025/07/31	40.1
3 年		
設定来	2024/10/28	88.7

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第1期	2025/10/21	0
設定来累計		0

- ※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.9	+0.3
現金等	0.1	-0.3
合計	100.0	0.0

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因 (円)

	計	インカム	キャピタル
株式	-1,072	+36	-1,109
先物等	0	0	0
為替	-93	-	-
分配金	0	-	-
その他	-30	-	-
合計	-1,195	+36	-1,109

- ※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」について、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

規模別構成比率 (%)

	当月末	前月比
大型株	87.3	+0.1
中型株	12.7	-0.1
小型株	0.0	0.0
合計	100.0	0.0

※ ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーによる分類です。

※ 分類基準は、大型株が時価総額100億米ドル以上、中型株が25億米ドル以上～100億米ドル未満、小型株が25億米ドル未満の銘柄です。

投資分野別構成比率 (%)

	当月末	前月比
発電	40.5	-3.1
送電	47.2	+7.4
蓄電	12.2	-4.3

※ ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーによる分類です。今後変更される可能性があります。

組入上位10カ国・地域 (%)

	当月末	前月比	
1 米国	45.2	-8.1	45.2
2 フランス	13.7	+6.4	13.7
3 ドイツ	7.9	+3.7	7.9
4 スペイン	7.2	+0.4	7.2
5 中国	6.6	+0.5	6.6
6 スイス	4.4	+0.4	4.4
7 英国	3.4	+0.1	3.4
8 デンマーク	2.4	-1.5	2.4
9 フィンランド	2.4	+0.1	2.4
10 日本	2.2	+0.5	2.2

※ 国・地域はBloombergのカントリーオペリスクによる分類です。

組入上位10業種 (%)

	当月末	前月比	
1 資本財・サービス	48.2	-5.2	48.2
2 公益事業	35.3	+7.5	35.3
3 情報技術	10.8	+0.0	10.8
4 素材	3.6	-0.7	3.6
5 エネルギー	2.1	-1.6	2.1

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比	
1 米ドル	49.0	-9.1	49.0
2 ユーロ	35.2	+10.4	35.2
3 中国元	6.6	+0.5	6.6
4 英ポンド	3.4	+0.1	3.4
5 デンマーククローネ	2.4	-1.5	2.4

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」の実質的な組入証券等の評価額合計を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」について、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位5銘柄

(組入銘柄数 44)

銘柄	国・地域 投資分野	サブテーマ	比率 (%)	コメント
1	エンジー フランス 発電	総合電力	6.7	低炭素エネルギーとサービスを提供する。風力、太陽光等の再生可能エネルギーを専門とし、冷暖房ネットワークやデータセンターなども提供する。蓄電池分野のグローバルリーダーでもあり、再生可能エネルギー容量と蓄電池容量の拡大を目標とする。
2	エーオン ドイツ 送電	総合電力	5.9	欧州最大級のエネルギーネットワーク・インフラ運営会社の一つであり、顧客に革新的なソリューションを提供する。電化、脱炭素化、電力網の近代化のトレンドが追い風となるほか、欧州委員会の競争力コンパス関連の支出からの恩恵も見込まれる。
3	ナトゥルジー・エナジー・グループ スペイン 送電	総合電力	4.4	再生可能エネルギーと送電網近代化に注力する大手電力・ガス会社。天然ガスの調達から輸送・供給まで幅広い事業を展開。魅力的なバリュエーションにあり、電力市場の需給の逼迫やデータセンター開発事業者との電力購入契約（PPA）締結などがさらなる上昇余地につながる可能性がある。
4	TEコネクティビティ スイス 送電	スマートグリッド	4.3	産業向けの接続機器やセンサーを提供し、輸送、再生可能エネルギー、データセンターなどで活用される。ハイパースケーラー向けに柔軟なソリューションを展開。拡大するデータセンター市場の成長からの恩恵が期待される。北米の電力インフラ更新を見据えた買収を通じて事業拡大を図る。
5	ハベル 米国 送電	スマートグリッド	4.1	商業、産業、電力、通信市場向けに電気・電子製品を製造。電力需要の増加を背景に、データセンターや再生可能エネルギーなど成長分野への投資を拡大し、高収益性の成長を目指す。データセンターの電気接続や電力網の強化を通じて持続的な成長が期待される。

※ 国・地域はBloombergのカントリーオブリスクによる分類です。

※ 投資分野およびサブテーマは、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーによる分類です。今後変更される可能性があります。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」について、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位6～10銘柄

銘柄	国・地域 投資分野	サブテーマ	比率 (%)	コメント
6	コンテンポラリー・アンプレックス・テクノロジー 中国 蓄電	マイクログリッド	3.8	車載電池システムや蓄電池、電池セルなどを製造・販売する世界有数の電池メーカー。EV向けや蓄電池向けのリチウム電池、電池化学技術で高い競争力を持ち、ナトリウムイオン電池でも先行。原材料価格が変動するなかでも、売上成長と利益率の安定感が強み。
7	ヴァンシ フランス 送電	スマートグリッド	3.6	フランスを拠点に、運輸、エネルギー、建設分野のインフラ・施設的设计、資金調達、建設、運営を行う。データセンターや電力網強化などのエネルギーソリューション事業の成長と効率的な資本配分に加え、高水準の受注残と電化需要を背景に、利益成長が期待される。
8	SSE 英国 発電	総合電力	3.3	英国とアイルランドで産業、商業、家庭用に電力を生成、供給する。同社は主にクリーンエネルギーインフラに注力しており、再生可能エネルギー部門とその移行を可能にするネットワーク事業を通じて、電力市場の脱炭素化の恩恵を受ける立ち位置にいる。
9	ハウメット・エアロスペース 米国 発電	ガスタービン	3.2	商業航空宇宙分野での高品質な製品の供給実績を背景に、タービンブレードの市場シェアを拡大している。AIデータセンターの建設拡大に伴い電力需要が増加するなか、同社は恩恵が期待されるガスタービン向け鋳造品・鍛造品の主要供給者として、成長が見込まれる。
10	ドミニオン・エナジー 米国 発電	総合電力	3.2	エネルギー製品の生産および輸送を行う。米国で天然ガスおよび電力の供給や貯蔵ソリューションなどを提供するほか、蓄電池分野でも一定の地位を確立している。同社の主要市場である米国南部における原子力関連事業とAIデータセンターの成長から恩恵を受けることが見込まれる。

※ 国・地域はBloombergのカントリーオブリスクによる分類です。

※ 投資分野およびサブテーマは、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーによる分類です。今後変更される可能性があります。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド」について、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

米国株式市場は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。中東情勢に対する懐疑的な見方が続くなか、原油価格上昇を受けた長期金利の上昇、韓国での反落をきっかけとした半導体関連銘柄全般の下落、AI関連市場の成長鈍化に対する警戒感などが、上値を抑えました。一方、4-6月期の企業業績が総じて堅調を維持したことが下支えとなったほか、月末近くにはマイクロソフトやアマゾン・ドット・コムが上昇し、市場全般に持ち直しました。欧州株式市場は、上昇しました。米国やアジアの半導体銘柄下落の影響に加え、長期金利の上昇が上値を抑えましたが、エネルギー関連銘柄の上昇がプラス要因となりました。また、前月利上げを実施したECB（欧州中央銀行）は政策金利を据え置きました。

＜運用状況＞

業種別では、資本財・サービスを中心に、全てのセクターがマイナス寄与となりました。銘柄別では、スマートメーターおよび公益事業向けデータソリューションを提供するアイトロン（送電）などが上昇した一方、インフラ関連のエンジニアリングおよび建設サービスを手掛けるマステック（送電）などが下落しました。テーマ別では、発電、蓄電、送電がいずれもマイナス寄与となりました（米ドル基準）。当月、ヴァンシ（送電）を新規に組み入れました。全売却はありませんでした。当ファンドでは、月末時点で44銘柄を保有しています。地域別では、北米や欧州（含む英国）を中心に投資を行っています。国別では、米国、フランス、ドイツなどを上位に組み入れています。また、業種別では、電力テーマに関連性の高い資本財・サービス、公益事業を中心に、情報技術、素材などに投資を行っています。

＜見通しと方針＞

当ファンドに関連するテーマについて、引き続き前向きな見通しを持っています。社会の電化やリショアリング（生産拠点の国内回帰）、AI本格展開に伴う電力需要の急増が強力な追い風です。これに対し、米欧の最新政策や、IEA（国際エネルギー機関）・IMF（国際通貨基金）などの国際機関による送電網制約に関する分析など、多角的な要因を注視しています。主要国における政策的支援に加え、足元でも急増する需要に対応するための発電・送電網への投資が世界的に活性化中、今後も世界的な電力需要の拡大から恩恵を受けると考えられる企業を、積極的に選定していく方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようになっています。

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド（為替ヘッジあり）：（為替ヘッジあり）

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド（為替ヘッジなし）：（為替ヘッジなし）

1. ニュートン・パワー・イノベーション・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、主として、電力需要の拡大や電力市場の変革に伴い恩恵を受けることが期待される、世界の株式に投資を行います。

● 銘柄の選定にあたっては、企業の成長見通しや株価の割安度等の分析を行うとともに、発電、送電、蓄電の3つの分野に着目します。

※ 世界の株式には、日本および新興国の株式を含みます。

※ 預託証券（DR）、上場投資信託（ETF）および上場不動産投資信託（REIT）にも投資を行う場合があります。

2. 実質的な運用は、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーが行います。

● マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部を、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーに委託します。

3. 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジあり）と（為替ヘッジなし）の2つのファンドからお選びいただけます。

（為替ヘッジあり）

● 実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全には為替変動リスクを回避することはできません。

● 対円での為替ヘッジを行う際、円の短期金利がヘッジ対象通貨の短期金利を下回っている場合、その金利差に相当する為替ヘッジコストがかかります。短期金利の変動等により、為替ヘッジコストも変動します。

※ 一部の通貨については、対円での為替ヘッジを行わない場合や、他の通貨で代替した為替取引（ただし、為替変動リスクを回避する目的に限り、）を行う場合があります。なお、直物為替先渡取引（NDF）を利用することもあります。

（為替ヘッジなし）

● 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

● 基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 一部の国・地域によっては口座開設に時間を要するため、一定期間は現物株への投資ができない場合があります。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。



ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

投資リスク

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

(為替ヘッジあり)

【部分的な為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は抑制されます】

ファンドは外貨建資産について、原則として対円での円買いの為替ヘッジを行います。一部の通貨について、為替ヘッジが困難等と判断された場合、為替ヘッジを行わない、または他の通貨で代替した為替取引を行うことがあります。

為替ヘッジが行われていない部分については為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

為替ヘッジが行われている部分については、為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。また、他の通貨で代替した為替取引を行っている部分については、当該代替取引を行っている通貨に対する現地通貨の為替変動の影響を受けます。

なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

(為替ヘッジなし)

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

【分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購



ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

投資リスク

その他の留意点

入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- (為替ヘッジあり) 為替取引を行う場合、直物為替先渡取引 (NDF) を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、当該取引において、取引先リスク (取引の相手方の倒産等により取引が実行されないこと) が生じる可能性があります。
- (為替ヘッジあり) ファンドが活用する店頭デリバティブ取引 (NDF) を行うために担保または証拠金として現金等の差入れがさらに必要となる場合があります。その場合、ファンドは追加的に現金等を保有するため、ファンドが実質的な投資対象とする資産等の組入比率が低下することがあります。その結果として、高位に組み入れた場合に比べて期待される投資効果が得られず、運用成果が劣後する可能性があります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2024年10月28日設定）

決算日

毎年10月21日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ロンドンの取引所の休業日

スイッチング

販売会社によっては、（為替ヘッジあり）および（為替ヘッジなし）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に3.30% (税抜き3.00%) を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理费用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.793% (税抜き1.63%)の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※ 上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社S M B C信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。 ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本S T O 協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号	○	○	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○		○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第15号	○		○	○		※1
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○	※2
O K B 証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第191号	○					
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○		
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第169号	○					
木村証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第6号	○					
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第65号	○	○				
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号	○					
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○					
スターツ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号	○		○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○	○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第24号	○	○				
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第25号	○					
P W M 日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号	○	○				
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○					
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号	○					
ほくほく T T 証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第24号	○					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	○	※2
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第20号	○					
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号	○	○				
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1771号	○					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○	※2
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第199号	○					
株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第1号	○					※1
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第43号	○			○		
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○					※3
株式会社 S B I 新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※4 ※3
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第8号	○					※1

備考欄について

※1：（為替ヘッジなし）のみのお取扱いとなります。※2：金融商品仲介業者経由のみでのお取扱いとなります。※3：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※4：ネット専用

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本S T O 協会	備考
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○		※1
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第5号	○		○		※1
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第5号	○				※1
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第8号	○				※1
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○		○		※4
朝日信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第143号	○				※1
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○				※1
岐阜信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第35号	○				※1

備考欄について

※1：（為替ヘッジなし）のみのお取り扱いとなります。※4：ネット専用

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用